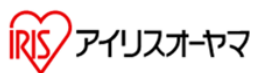


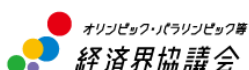
新しい東北 復興ビジネスコンテスト2018

受賞一覧

協賛団体



協力団体



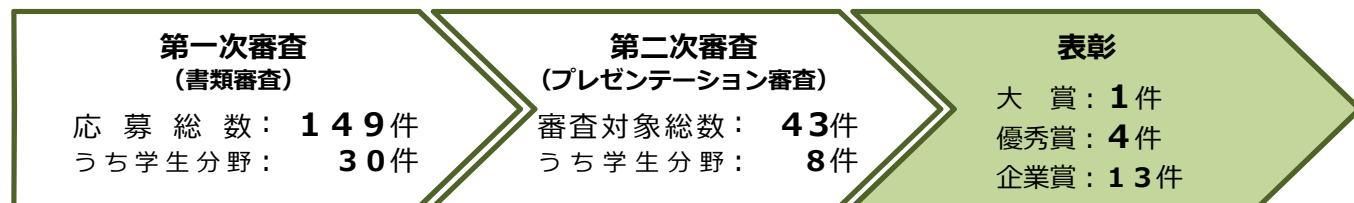
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2018

○ 概要

被災地の産業復興に向けた地域産業の創出の機運醸成を図ることを目的に、東日本大震災の被災地における地域産業の復興や地域振興に資する事業を既に展開している方、または、これから取り組もうとしている方を対象に募集いたしました。加えて、学生(*)を対象とした事業プランも募集いたしました。

(※ 大学院、高等専門学校、専修学校、各種学校及び中等教育学校後期課程の学生・生徒を含みます。)

■ 受賞者決定までの流れ



○ 審査員

黒澤 賢治	(特定非営利活動法人アグリネット 理事長)
小松 俊昭	(合同会社家守公室 代表)
篠崎 宏	(株式会社JTB総合研究所 執行役員 コンサルティング第1部長)
土肥 健夫	(株式会社事業開発推進機構 代表取締役)
中島 淳	(株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ 代表取締役)
野村 秀之	(株式会社博報堂 人材開発戦略室 シニアマネジメントプランニングディレクター)
平野 哲行	(株式会社平野デザイン設計 代表取締役)
堀田 雅湖	(特定非営利活動法人こめみしょうゆアカデミー 事務局長)
山田 さとみ	(特定非営利活動法人東北みち会議 副理事長)
政所 利子	(株式会社玄 代表取締役)

※ このほか、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、独立行政法人科学技術振興機構JST復興促進センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構、金融機関等が審査に参加しました。

○ 受賞者特典

副賞 (賞金)	「新しい東北」官民連携 推進協議会における PR機会の提供	協賛団体等主催の イベント等への招待	パンフレット配布による 各地関連機関等への 事業内容の紹介
大賞 30万円 優秀賞 10万円 優秀賞 (学生分野) 5万円 企業賞 5万円	東北3県を中心に開催する「新しい東北」官民連携推進協議会・交流会において、事業内容をアピールすることができます。	本ビジネスコンテストの協賛団体等が主催するイベント等に招待されます。	受賞者の事業内容を紹介するパンフレットを各地の関連機関等へ幅広く配布します。
専門家による派遣指導等	プロモーション活動支援	事業活動経費支援	その他
専門家等が現地に出向いて、直接その指導を受けることができます。	プレスリリースの作成方法を専門家から直接学ぶことができるセミナーに参加できます。	展示会への出展等に伴う経費の一部補助を受けることができます (検討中)。	協賛企業トップとの対談やWebサイト・SNSでの紹介の機会が得られます (検討中)。

※特典はやむをえず変更となる場合があります。

○ 表彰式

平成30年11月22日(木) 14:30-15:30 於 大手町フィナンシャルシティカンファレンス&ホール

受賞者紹介

大賞

KUMIKI PROJECT株式会社（神奈川県二宮町 ※東北拠点 岩手県陸前高田市・秋田県能代市）
「被災地での活動からはじまった「DITインストラクター」育成事業」

優秀賞

広田湾遊漁船組合(広田湾漁業協同組合)（岩手県陸前高田市）
「広田湾海中熟成プロジェクト～体験と特産品による経済活性～」

一般社団法人手づくりマルシェ（福島県福島市）
「“手づくり”でつなぐ福島の賑わい活性化のまちづくり・仕事づくり事業」

古河電池株式会社（福島県いわき市）
「震災を経て生まれた、あの時、本当に欲しかった電池～MgBOX～」

優秀賞 (学生分野)

福島県立会津農林高等学校 人と種をつなぐ会津伝統野菜専攻班（福島県会津坂下町）
「会津伝統野菜を未来へつなげる」

アイリス オーヤマ賞

有限会社東北工芸製作所（宮城県仙台市）
「高耐久性漆器ナノコンポジットを付与した玉虫塗の研究開発および販売」

KDDI 総合研究所賞

貴凜庁株式会社（宮城県東松島市）
「希望ある未来を発信する子ども未来創造校「KIBOTCHA」(キボッチャ)」

JTB賞

有限会社まるせい果樹園（福島県福島市）
「未利用果物の有効活用を図る農家カフェ「森のガーデン」運営事業」

仙台銀行じもと 復興創生応援賞

株式会社ニケ・ウイング（宮城県仙台市）
「道路の安全性向上のための低位置照明設備の開発」

大和証券グループ・ フェニックス賞

有限会社三陸とれたて市場（岩手県大船渡市）
「グローバルの風に乗れ！地域連携による魚介の高付加価値化と刺身の輸出」

わきたつ東北賞 東北経済連合会

福島県立会津農林高等学校 人と種をつなぐ会津伝統野菜専攻班（福島県会津坂下町）
※優秀賞（学生分野）とトリプル受賞
「会津伝統野菜を未来へつなげる」

東洋ワーク賞

福島県立会津農林高等学校 人と種をつなぐ会津伝統野菜専攻班（福島県会津坂下町）
※優秀賞（学生分野）とトリプル受賞
「会津伝統野菜を未来へつなげる」

日本総研 未来アワード

株式会社Piezo Studio（宮城県仙台市）
「東北の「知」「材」「技」を集積し革新的デバイスを世界に発信！」

野村ホール ディングス賞

仙台農業協同組合（宮城県仙台市）
「仙台の大豆、だから仙大豆。～大豆フードイノベーション～」

JR東日本賞

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 石原ゼミナール（宮城県仙台市）
「石巻の郷土菓子を活用した産業復興ソリューションの開発」

丸紅賞

みやこじスイーツゆい（福島県田村市）
ふっこう
「地元食材を使用した福幸スイーツの開発」

みずほ賞

信陵建設株式会社（福島県福島市）
「飯坂温泉グラノーラによる地元産果物の消費拡大と地域活性」

LIXIL賞

特定非営利活動法人 Cloud JAPAN（宮城県気仙沼市）
「空き家×託児×シェアハウス＝∞」

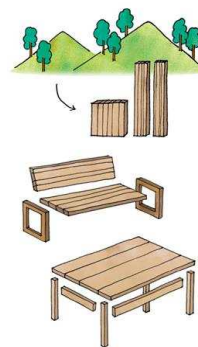
大賞

大 賞

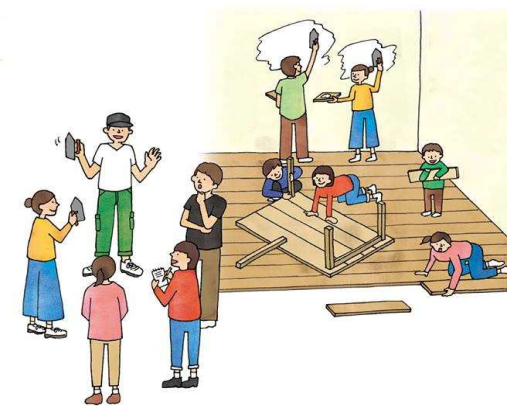
団体名	クミキ プロジェクト KUMIKI PROJECT株式会社（神奈川県二宮町 ※東北拠点 岩手県陸前高田市・秋田県能代市）
事業名	被災地での活動からはじまった「DITインストラクター」育成事業
事業概要と 受賞ポイント	● セルフリノベーションの知識・技術を有するセミプロインストラクターを養成し、セミプロインストラクターの指導を受けながら、リノベーションを必要とする店舗・空き家の所有者や近隣住民が自らリノベーション作業を行う事業です。その作業に使用する材料として、岩手県産の「気仙杉」を使用した組立キットの製造・販売も行っています。 セルフリノベーションによるコスト削減のみならず、作業を通じたコミュニティの形成など、参加者によるWin-Winの関係性を築くことも目的としています。 ● 陸前高田市や石巻市の住民とともに、津波で被災した集会所を建てなおす取組からスタートした事業である点や、気仙杉などの地域材を使用したキットの製造・販売を行う点が、震災からの復興に関するストーリー性を有するとして高く評価されました。 ● ターゲット層が明確で、収支計画が現実的であり、既に8都府県69カ所での実績がある点について、事業の実現性が高く評価されました。
URL	http://kumiki.in/



地域材を使用した組立キット



「とむにつくる」



インストラクターによるレクチャー



※「DIT」とは「Do It Together」の略。

優 秀 賞

優 秀 賞

団体名	広田湾遊漁船組合(広田湾漁業協同組合)(岩手県陸前高田市)
事業名	広田湾海中熟成プロジェクト～体験と特産品による経済活性～
事業概要と 受賞ポイント	● 日本酒を海中で熟成する取組と体験観光を組み合わせた事業で、海中熟成酒の設置と水揚、漁業体験、海産物のセット販売を行っています。今後の展開として、地元酒造メーカーや飲食店など地域と連携した事業による交流人口拡大・移住定住促進等も見据えています。 ● 海中での日本酒の熟成に留まることなく、広田湾での漁業体験等と合わせている点や、熟成した地元の日本酒を市内の飲食・宿泊・小売店舗で販売することによる地域への波及効果が高く評価されました。 ● ワインや醤油の海中熟成、友好都市の酒造メーカーとの連携など、今後の拡大戦略が明確に掲げられており、その発展可能性が高く評価されました。
URL	http://hirotawan-yugyosen.com/



優秀賞

団体名	一般社団法人手づくりマルシェ(福島県福島市)
事業名	“手づくり”でつなぐ福島の賑わい活性化のまちづくり・仕事づくり事業
事業概要と受賞ポイント	● 東日本大震災により避難し、慣れない土地で人とのつながりが希薄になりがちな方に、手づくりワークショップ等を通じたコミュニケーションの場を提供する活動から始まった事業です。 ワークショップで制作された手づくり品の展示・販売イベント(マルシェ)を開催するだけでなく、手づくり品のコンテストの開催によりレベルの高い作品やその作り手のブランド化を目指すなど、個々の作り手のスタンスに合わせ、きめ細かな支援を行っています。 ● コンテストにより厳選された作品の展示会や期間限定店舗への出店機会を提供するなど、今後の販路拡大計画が明確である点について、ビジネスとしての実現性が高く評価されました。 ● 会津木綿や会津塗など福島県の文化や技術を活かした商品展開であり、伝統産業を有する他地域のモデルにもなり得るとして、そのモデル性が高く評価されました。
URL	https://f-tezukuri.jimdo.com/

手づくりワークショップ



手づくり市

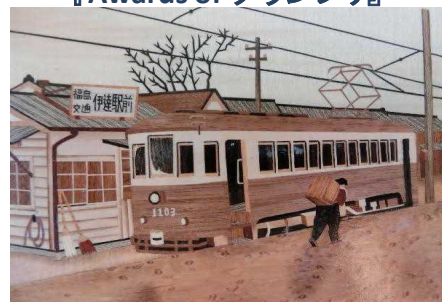


『Art's & Craft's Awards 手づくりMarche in Japan ふくしま 2015』

受賞作品



『Awards of グランプリ』



もくぞうがん
木象嵌による「懐かしい路面電車の風景」

優秀賞

団体名	古河電池株式会社(福島県いわき市)
事業名	震災を経て生まれた、あの時、本当に欲しかった電池 ～ マグボックス MgBOX ～
事業概要と受賞ポイント	● 東日本大震災の停電により携帯電話が使えず家族の安否確認や事業の継続に支障をきたしたという実体験から、紙製容器に水を入れるだけで発電が始まり、付属のUSB端子からスマートフォン等に充電が可能なマグネシウム空気電池「MgBOX」を製造・販売する事業です。 ● 紙製容器を使用するなど一般的なごみとして廃棄可能であり、海水や尿によっても発電可能であるなど、被災体験を基に実際の災害現場で使いやすいデザインとなっている点が、先駆性を有すると高く評価されました。 ● 非常時以外(屋外でのイベント・キャンプ等)の活用を想定しているなどの発展可能性も評価されました。
URL	https://www.furukawadenchi.co.jp/

マグボックス

MgBOX とは・・・

正極に空気(酸素)、負極にマグネシウム合金を使用したマグネシウム空気電池からなる使い捨て非常用電源。

使用時に水を入れると発電し、USB端子から電気を供給。1台でスマートフォン30回フル充電できる。



発電時間	最大 5 日間
最大電気量	300 Wh
寸法	233 × 226 × 226 mm
質量	約 1.6 kg (注水前)

使用方法



使用できる水

水道水, 工業用水, 蒸留水, 飲料用保存水, 海水, 湖水, 河川水, 雨水, 風呂の残り湯(いずれも濁りの少ないもの)

緊急時に使用できる水

ジュース, お茶, 尿

※「マグネシウム空気電池」とは、『金属空気電池』、『燃料電池』の一種。主に水系電解液を用いた一次電池が一般的。

優 秀 賞（学生部門）

わきたつ東北賞 東北経済連合会 東洋ワーク賞

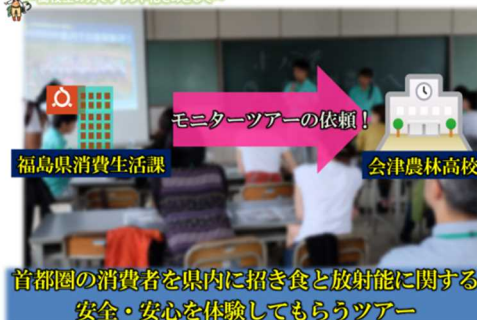
※優秀賞（学生部門）と2つの企業賞とのトリプル受賞！

団体名	福島県立会津農林高等学校 人と種をつなぐ会津伝統野菜専攻班 (福島県会津坂下町)
事業名	「会津伝統野菜を未来へつなげる」
事業概要と 受賞ポイント	● 地元高校生が、生産者・加工・小売業者と連携して、会津伝統野菜のブランド化を目指す事業です。特に、グローバルGAP(※)認証取得、伝統野菜の普及に向けた消費者モニターツアー・販売会の実施など、多角的・戦略的にプロモーションを実践しています。 ● 地元農家との連携、モニターツアーの実施など様々な活動が既に行われており、事業の実現性について高く評価されました。 ● 本事業をきっかけに同校の卒業生が地元で就農し、伝統野菜を栽培するようになるなど、地域産業に与える波及効果が認められ、その発展可能性が高く評価されました。
協賛企業 からの コメント	【東北経済連合会】 会津農林高校の「会津伝統野菜」に関する取組(シードバンク、栽培方法普及・改善、販路拡大、新規就農者創出等)とそれを支える校内教育・伝承の仕組みは卓越している。「会津伝統野菜」とともに飛躍し、東北の未来を切り拓く原動力となることを期待し、「わきたつ東北賞」を授与します。 【東洋ワークグループ】 会津の高校生たちが会津伝統野菜というまさに地元根付いた産品をテーマに、伝統野菜を交配し純血種の会津野菜を栽培する方法などの調査検討を地道に進めている姿勢、普及を目指し奮闘する姿に感銘を受けました。若者らしい誠実な取り組みを高く評価致しました。
URL	https://aizunorin-h.fcs.ed.jp/

地域の農家の為にできること...



会津伝統野菜を未来につなげる...
高校生の力でブランド化をめざして...



会津伝統野菜を未来につなげる...
高校生の力でブランド化をめざして...



※GAP (Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組です。グローバルGAP認証とはそれを証明する国際基準の仕組みです。

企業賞

アイリスオーヤマ賞

団体名	有限会社東北工芸製作所(宮城県仙台市)
事業名	高耐久性漆器ナノコンポジットを付与した玉虫塗の研究開発および販売
事業概要	● 東北工芸製作所と産業技術総合研究所東北センターが共同して、漆器の擦過性・耐候性等を向上させるコーティング技術を開発する事業。 ● この技術を同社の製作する宮城県伝統工芸品「玉虫塗」に採用し、「観る」漆器から「使う」漆器へと変貌。食洗機に対応可能となり、業務用や海外輸出など商品展開を拡大。
協賛企業からのコメント	衰退産業とされている伝統工芸品を、最先端技術を施すことにより現代のライフスタイルにも適した商品「使う工芸」に変えた。食洗機にかけられる玉虫塗は、国内外への展開で復興工芸品の成功モデルと言える。
URL	http://www.t-kogei.co.jp/



※「ナノコンポジット」とは、ナノメートル規模の微小な物質を混合することで従来にない特性を持つ複合材料の総称。

K D D I 総合研究所賞

団体名	貴凜庁株式会社(宮城県東松島市)
事業名	希望ある未来を発信する子ども未来創造校「KIBOTCHA(キボッチャ)」
事業概要	● 東日本大震災で津波の被害を受けた小学校を活用して、子どもたちに防災を通じて命の大切さを伝える事業。 ● 防災のプロである自衛隊・消防・警察のOBを重用。防災情報の発信とともに、宿泊施設やレストランを併設して、地域のフィールドも加えた宿泊体験型の防災学習と観光事業を展開。
協賛企業からのコメント	被災した小学校(震災遺構)を活用した「KIBOTCHA」の運営は、防災教育の普及と共に震災の記憶を継承していく、非常に社会的意義のある取組です。防災教育を通じて、観光と地域の活性化に資する点に加え、今後のICTの更なる活用が見込める点を評価させて頂きました。
URL	http://kirintyou.co.jp/ ・ http://kibotcha.com/



J T B 賞

団体名	有限会社まるせい果樹園(福島県福島市)
事業名	未利用果物の有効利用を図る農家カフェ「森のガーデン」運営事業
事業概要	- 東日本大震災により大きな打撃を受けた観光農園が、農家カフェ「森のガーデン」をオープンした。グローバルGAP(※)を取得した自家製・新鮮果実を使ったパフェなどのスイーツを提供している。 - 周辺から観光客を呼び込む拠点として機能し、事業拡大に伴って新たな雇用を生むなど、地域の観光・雇用に貢献している。
協賛企業からのコメント	果樹栽培80年近い伝統や歴史に加え、震災以降も新商品の開発や農業を通じた交流人口拡大に向け、「森のカフェ」のオープンや畑のライトアップなどに着手され、持続的に地域の雇用拡大や経済効果の享受に貢献されている。また、近隣には飯坂温泉もあり連携しながら地元はもとより観光客が訪れる更なる挑戦に期待します。
URL	http://www.geocities.jp/fukushimamarusei/



(※ P7の注釈をご参照ください)

仙台銀行じもと復興創生応援賞

団体名	株式会社ニケ・ウイング(宮城県仙台市)
事業名	道路の安全性向上のための低位置照明設備の開発
事業概要	- 設置位置が低く、高速道路上で転倒しても安全な照明設備の導入事業。 - 照射エリアを6分割し、照射角度を調整可能にすることで、道路だけを均一な明るさで照らすことができるため、ドライバーに眩しさを感じさせることなく、近隣住民への光害が少ない照明設備である。 - 安全対策に加え、LEDを使用して必要エリアのみを照射することにより、省エネルギー効果にも優れている。
協賛企業からのコメント	地元発の高い技術力に感動いたしました。御社の今後の事業展開が、地元の復興・創生にプラスの効果をもたらすものと期待して表彰いたします。
URL	—



大和証券グループ・フェニックス賞

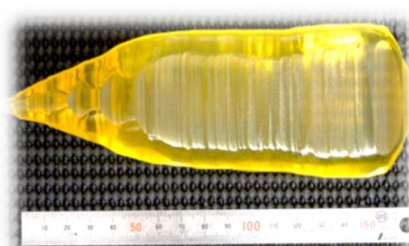
団体名	有限会社三陸とれたて市場(岩手県大船渡市)
事業名	グローバルの風に乗れ！地域連携による魚介の高付加価値化と刺身の輸出
事業概要	● 漁業者と連携し、水揚げから配送まで一貫して鮮度を保つ技術を活用。細胞を壊さないまま凍結する技術(CAS)によって、刺身の製品寿命を飛躍的に延長。 ● 個食使い切りパックに加工し、国内のみならず、タイ・香港・シンガポールをはじめとしてアジア圏に輸出している。
協賛企業からのコメント	豊かな水産資源を有する三陸から、これまでの漁業産業形態を抜本的に見直し、最新の技術等を活用したビジネスを作り出そうとする同社を応援します。
URL	https://www.sanrikutoretate.com/



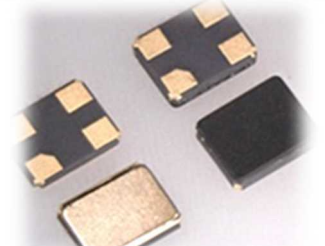
※「CAS」とは、Cells Alive System冷凍のこと、食味の低下を大幅に低減することを可能にした冷凍技術。

日本総合研究所「未来アワード」

団体名	株式会社 Piezo Studio(宮城県仙台市)
事業名	東北の「知」「材」「技」を集積し革新的デバイスを世界に発信！
事業概要	● 東北大学金属材料研究所のベンチャーとして誕生。東北大学発祥の技術である新材料(人口結晶)を用いた新型電子デバイス(振動子)を開発し、結晶の育成からデバイスの製造までのプロセスを確立して製品の低コスト化を実現している。 ● 東北の優れた知、起業家精神、東北地方の企業力を融合して、材料レベルから革新的デバイスを生み出している。
協賛企業からのコメント	新規圧電結晶を活用した新性能センサの開発は、拡大するIoTデバイスにおいて活躍の場が増加する面白い事業。東北のすばらしいシーズを新事業に結びつけるこのような取組を評価し、応援します。
URL	http://www.piezostudio.co.jp/



優れた圧電性能と高温に耐える特性を備えた新材料



新規ランガサイト型単結晶振動子 外観

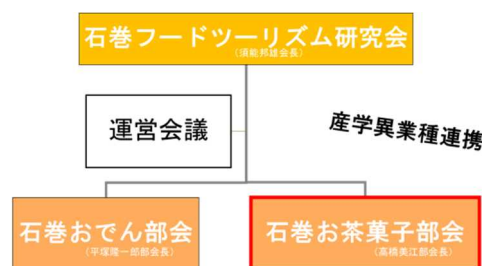
野村ホールディングス賞

団体名	仙台農業協同組合(宮城県仙台市)
事業名	仙台の大豆、だから仙大豆。～大豆フードイノベーション～
事業概要	● 東日本大震災からの農業復興と宮城県産大豆の認知度向上を目的として誕生したプロジェクト。大豆パスタや大豆チップスなど、これまでにない新たな大豆食品開発に挑戦。 ● 宮城県の在来品種である大豆「ミヤギシロメ」を主原料に、多様な商品を開発している。
協賛企業からのコメント	野村のDNAは「変革と挑戦」。震災復興と地域農業振興に共感しただけでなく、「震災後の取組みにより大豆栽培面積が100倍まで拡大」「クラウドファンディングによる開発資金の調達」という点が、まさに弊社の「変革と挑戦」にマッチしました。
URL	https://www.jasendai.or.jp/



J R 東日本賞

団体名	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 石原ゼミナール(宮城県仙台市)
事業名	石巻の郷土菓子を活用した産業復興ソリューションの開発
事業概要	● 事業者数が減少している石巻市において、石巻地域伝統の製菓の販売促進によって、地域の活性化を目指したプロジェクト。 ● 石巻市の産学・異業種連携組織である「石巻フードツーリズム研究会」と連携して取り組んでいる。 ● 消費者ニーズに照らした新商品開発と郷土菓子をテーマにした着地型観光事業を展開。
協賛企業からのコメント	伝統的な郷土菓子を観光資源として地域活性を目指す取り組みは、「観光の力で地域を元気にしたい」という弊社の取り組みと親和性が高いと評価しました。
URL	http://www.mgu.ac.jp/



丸紅賞

団体名	みやこじスイーツゆい(福島県田村市)
事業名	地元食材を使用した福幸 ^{ふっこう} スイーツの開発
事業概要	- 東日本大震災により、一時は全地域が避難区域となった都路町において、元気な都路の賑わいを取り戻すため、黄身の色が濃く、濃厚な風味の地元「都路のたまご」を活用したプリン・シフォンケーキなどを地域特産品として開発。平成28年3月より、洋菓子店「みやこじスイーツゆい」をオープン。 - 子どもを育てる若い女性の雇用の場として機能し、特産品を通して地域内外に都路町の復興をPRしている。
協賛企業からのコメント	全地域が避難地域となった都路町において、地元産品で生産することにこだわって商品を開発。町が復興するためのシンボリックな事業として取り組まれている点を高く評価しました。
URL	https://www.miyakoji-sweets-yui.com/



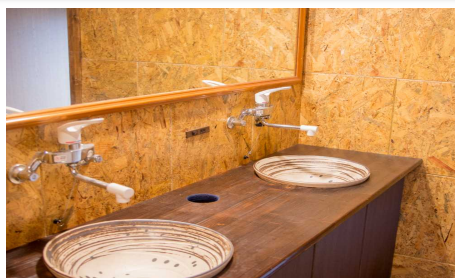
みずほ賞

団体名	信陵建設株式会社(福島県福島市)
事業名	飯坂温泉グラノーラによる地元産果物の消費拡大と地域活性
事業概要	「いで湯とくだものの里」飯坂温泉の活性化を目指す。 - 福島産にこだわったグラノーラ商品の企画・製造・販売。地元飯坂温泉周辺の農家・商店・宿泊施設等と販売委託・再加工などで密接に連携し、地域の輪を広げながら、飯坂温泉の特産品づくりとPRを進める。
協賛企業からのコメント	福島市飯坂町の果物を活用してグラノーラを製造し、飯坂温泉内の宿泊施設で提供するほか、地元の特産物として売り出すことで飯坂温泉全体の活性化を図ろうとするモデルは明快。既に製造・販売が開始され、事業が軌道に乗りつつある点も評価しました。
URL	https://www.onsen-granola.com/



L I X I L 賞

団体名	特定非営利活動法人 Cloud JAPAN（宮城県気仙沼市）
事業名	空き家×託児×シェアハウス＝∞
事業概要	● 気仙沼市の子育て世帯の育児負担、移住者の定着率の低さという課題から着想を得た事業。 ● 市内の空き家をリノベーションし、シェアハウス・託児所として活用することにより、地域が抱える課題解決に取り組んでいる。
協賛企業からのコメント	少子高齢化時代における空き家問題、子育て世帯への支援という大きな社会課題に対して取り組む活動に賛同し、企業賞を選定させていただきました。
URL	http://cloud-japan.org/



「新しい東北」復興ビジネスコンテスト これまでの歩み

- 2014年の開始以来、毎年改善を加えながら「新しい東北」復興ビジネスコンテストを開催
- 学生部門の創設など、地域産業の担い手のすそ野を広げる取組も実施
- 受賞者数は、のべ55団体・個人にのぼる(2015年のアイデア部門を含める)



2014	2015	2016	2017
大賞			
(株)磐城高箸 間伐材を使用した高級割り箸等	(株)バンザイファクトリー 三陸未利用資源の甘露煮	(株)JD Sound 被災地での「タツ」DJシステムの販売	漆とロック株式会社 育てる器で食を大事にする日本へ
優秀賞			
桃浦かき生産者合同会社 カキ剥きの機械化と商品開発	アートカフェレストランSEASAW 葛蒲田海岸に交流の場を開設	(株)及富 伝統工芸のコラボ商品開発	企業組合八幡平地熱活用プロジェクト 馬の堆肥で作った野菜の宅配サービス
みらい食の研究所 一次産品を活用したスープ等の開発	(一社)コミュニティ・入みねこ 高齢者の働く場(カフェ)の運営等	Cafe&Restaurant HAMAYUI カフェ運営を通じた人材育成	合同会社岩手野生動物研究所 ニホンジカ用忌避剤の製造・販売
島津麴店 天然発酵甘粧飲料	(株)仙台買取館 古着物のアロハへのリメイク	福島県立安達東高等学校 果汁を吸わせることによる蜂蜜の高品質化	(株)つながるファーム 長ネギ大規模栽培で農業後継者と障がい者を雇用
ヤグチ電子工業 安価・高精度・軽量放射線測定器	東北協同乳業(株) 産学連携で新しい乳酸菌を使用したヨーグルト		福島県立相馬農業高等学校 地域ブランド油の6次化商品の開発・販売
梅村771気仙沼FSアトリエ(株) 毛糸等の販売・編物教室を通じた交流	末家焼窯元ひろ窯 末家焼のブランド確立等の取組		
企業組合八幡平地熱活用プロジェクト 馬ふん堆肥によるマッシュルーム栽培	みやぎのあられ(株) 東北素材を使った米菓の開発		
	(株)有紀 電力を使用しない自動ドア開発		

「新しい東北」復興ビジネスコンテスト 受賞者の活躍状況



これまでの受賞者が「CEATEC JAPAN 2018」に出展！

- IoT・ロボット・AIなど国内外で活躍する I T 技術の展示会「CEATEC JAPAN2018」が開催され、協力団体である「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」様のご協力によって、これまでの受賞者が参加しました。
(アンデックス株式会社・株式会社JDSound・株式会社セッションナブル)
- 3社は「東北・九州復興サポート展示ゾーン」にブースを出展し、事業内容や自社製品を紹介いたしました。
- ブース総数700以上、来場者数15万人以上という一大イベントということもあり、各社のブースも多くの方々の目に触れ、知名度向上と新たなビジネスチャンスのきっかけに繋がる出展になりました。

「CEATEC JAPAN2018」

10/16～19まで幕張メッセで開催され、多くの来場者で賑わっていました。



アンデックス株式会社（宮城県仙台市）

- ・ 2015年 KDDI総合研究所賞
＜感想＞

このような機会をいただき、大変有り難いお話だった。多くの方にブースに立ち寄っていただき、事業内容をご覧いただいたので、今後のビジネスにつながる期待がある。



株式会社JDSound（宮城県仙台市）

- ・ 2016年 大賞
＜感想＞

県内出身者や被災された方、クラウドファンディングにご支援いただいた方など多くの方にお立ち寄りいただいた。今後の製品開発に関する商談も行うことができ、貴重な出展機会となった。



株式会社セッションナブル（宮城県仙台市）

- ・ 2017年 LIXIL賞
＜感想＞

やはり来場者の多さ、イベント規模の大きさは非常に魅力的であった。多くの方に自社製品に触れていただくことができ、PRすることができた。



クラウドファンディングで約9,500万円を調達！

～株式会社JDSound（宮城県仙台市）～

- 高品質なポータブルDJシステムを製造・販売する事業です。（2016年大賞）
- 2018年は、動画視聴に最適なポータブルスピーカー「ovo」の開発等の資金調達のため、クラウドファンディングを活用いたしました。その結果、7,500人以上の方から約9,500万円のご支援をいただきました。

映画、スポーツ、ゲーム等の動画視聴に最適なポータブルスピーカー「ovo」を開発しました。
「ovo」はUSBを繋ぐだけでセットアップができます。USBから供給される電力だけで迫力のある、良質な音を生み出します。



OVOに搭載されているスピーカーユニットやデジタルテクノロジーは、2017年に発売した弊社製品「GODJ Plus」の技術がベースとなっています。



「ovo」の開発等の資金調達のため、クラウドファンディングを活用いたしました。その結果、7,500人以上の方から約9,500万円のご支援をいただきました。

支援金額

¥ 94,885,800

（目標金額の474%を達成）

目標金額

¥ 20,000,000

概 要

団 体 名	株式会社JDSound（宮城県仙台市）
事 業 名	被災地石巻でMade In Japanのオーディオ製品を作ります
受 賞	大賞（2016年度）
事 業 概 要	高品質なポータブルDJシステム（ターンテーブル、ミキサー、内蔵スピーカー等を全て搭載）を製造・販売する事業。石巻の企業に製造を委託し、地域産業の活性化にも貢献。
U R L	https://www.jdsound.co.jp/

漆器「めぐる」が「47 REPAIR & CARE -47都道府県の修理と手入れ展-」に展示されました ～漆とロック株式会社（福島県会津若松市）～

- 漆器の繋ぎ手・伝え手として、「山と、人と、食卓を繋ぐ」をテーマに、日本の木と漆の文化と産業を未来に繋ぐサイクルを作る取組です。（2017年大賞）
- 2015年より発売を開始した東北の漆器ブランド「めぐる」は、岩手県の国産漆を使い、会津職人の技術が注ぎ込まれて製作された漆器です。最大の特徴は、人の手にフィットする優しい触り心地。その商品開発・製作には、職人だけではなく、さまざまな団体・クリエイターが参加しました。また、「めぐる」は、その売上の一部が、漆の植栽活動に還元されるという循環型の商品です。
- 今年の4月～6月まで渋谷ヒカリエ8階で開催された「47REPAIR & CARE-47都道府県の修理と手入れ展-」に展示されました。

「めぐる」は、「漆器繕い」として紹介され、割れてしまった部分を漆によって修繕した「お直し品」として展示されました。



こちらの修繕された「めぐる」は、実際に神戸のカフェで使用されていたものをお借りして、展示されました。



このほか会場内には、「ふとん打ち直し」や「めがね直し」など、修理や手入れに関する様々な展示品が並びました。



概 要

団 体 名	漆とロック株式会社（福島県会津若松市）
事 業 名	「我が子のような“育てる器”で食を大事にする日本へ ～山と、人と、食卓を繋ぎ直す～」
受 賞	大賞（2017年度）
事 業 概 要	漆器の繋ぎ手・伝え手として、「山と、人と、食卓を繋ぐ」をテーマに、日本の木と漆の文化と産業を未来に繋ぐサイクルを作る取り組み。
U R L	https://www.urushirocks.com/

受賞事業の商品化と、本社新工場の操業開始

～株式会社バンザイ・ファクトリー（岩手県大船渡市）～

- 砂糖と一般的な醤油を利用しない甘露煮を製造、販売する事業です。（2015年大賞）。
- 受賞した甘露煮を高級ギフト「三陸甘茶煮」として商品化すると、「ぐるなび」が主催する「接待の手土産セレクション2017」に入选し、大きな反響を呼びました。
- 岩手産山桜を使用して製造する「福おちよこ」は、底に縁起の良い馬蹄があしらわれており、吉野正芳前復興大臣が米国訪問のお土産にするために購入されました。
- 当社は、本社を岩手県陸前高田市から大船渡市に移転し、2018年5月1日から操業を開始しました。

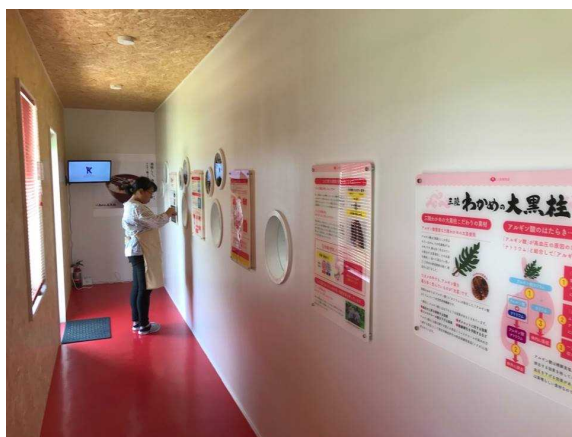
新工場の外観です。写真左側が事務所棟、右側が質感精密木工部門の工場となっています。



美味食品部門の工場棟内です。こちらでは、新商品である「わかめ大黒柱」を製造中です。



工場内の見学ルートです。見学ルートには、当社の商品案内のパネルのほか、小窓をつけて工場内が見やすくしています。地元の小学生らを招いた見学会を開催しています。



質感精密木工部門工場棟の切削機械が置かれた部屋です。電子ピアノで有名なローランド社製木工切削機が6台ほど並んでいました。別の部屋にある3Dスキャンシステムで読み込んだデータを基に木を削り、「福おちよこ」等を製造しています。



概 要

団 体 名	株式会社バンザイ・ファクトリー（岩手県大船渡市）
事 業 名	三陸の未利用資源を使用した健康配慮型『三陸甘露煮』
受 賞	大賞（2015年度）
事 業 概 要	従来、未利用であった水産資源の活用と一次産業者の収益向上を狙い、「砂糖」と一般的な「醤油」を使わない健康的に配慮した製法で付加価値を高めながら甘露煮を作り、販売する事業
U R L	https://www.sagar.jp/

福島県とBEAMSのタイアップ企画「ふくしまものまっぷ」に登場

～株式会社磐城高箸（福島県いわき市）～

- 「ビームス ジャパン」のバイヤーが福島県総合情報誌「ふくしままっぷ」に着想を得て、実際に福島県を訪れて復興の現状への理解や県民との交流を深めた経験から実現したものです。
- 2018年1月にスタートし、福島県の商品をひと月ごとにピックアップして紹介し、福島県を届けていますが、その第5弾として、株式会社磐城高箸（2014年度大賞受賞）が選ばれました。
- 2018年5月1日から、新宿のビームスジャパン1階にて、BEAMS JAPANとのコラボレーション商品（磐城杉材を有効利用した高級割り箸）の販売、福島県総合情報誌「ふくしままっぷ」の配布、「ふくしまものまっぷ」のパンフレットの配布が行われています。

（株）磐城高箸のコーナーでは、高級割り箸のコラボ商品のほか、割り箸製造工程で生じる「おが粉」を中材として利用したぬいぐるみ「おがべこ」も販売されました。



店舗内エレベーター前に「ふくしままっぷ」、「ふくしまものまっぷ」のパンフレットが置かれていました。



同店1階の福島県コーナーには、大堀相馬焼や白河だるまなど、福島県内の産品が陳列されていました。



概要

団体名	株式会社磐城高箸（福島県いわき市）
事業名	林業と地域を再生させる、間伐材を使用した高級割り箸
受賞	大賞（2014年度）
事業概要	いわき産杉間伐材を活用し、デザイン性のある高級割り箸や派生商品を一貫製造・販売する事業を展開。
URL	https://iwaki-takahashi.biz/

ゴッホ「ひまわり」とのコラボイベント

～特定非営利活動法人チームふくしま（福島県福島市）～

- 「ひまわり」を福島の復興のシンボルとする「福島ひまわり里親プロジェクト」です。（2017年企業賞「損保ジャパン日本興亜賞」）
- 企業賞を授与した損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、アジアで唯一ゴッホの「ひまわり」を所有する企業です。
- 今回の受賞をきっかけとして、「ひまわり」をテーマとしたコラボイベントが、ゴッホ「ひまわり」を所蔵する「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」にて平成30年6月2日に開催されました。

ゴッホ「ひまわり」の前で、今回特別に記念撮影を行いました。



コラボイベントに参加した愛知県の高中生や千葉県の高齢ボランティアの皆さんが新たな種を植えました。



チームふくしまから送られた種からひまわりを育てた高校が文化祭で作成した「ひまわり」の切り絵が披露されました。



概要

団体名	特定非営利活動法人チームふくしま（福島県福島市）
事業名	ひまわりが繋ぐ全国と福島の絆『福島ひまわり里親プロジェクト』
受賞	企業賞「損保ジャパン日本興亜賞」（2017年度）
事業概要	ひまわりを全国各地でいわば「里親」として育て花を咲かせて採種し、その種を福島の地で「復興のシンボル」として咲かせることにより、全国と福島の絆を深めるプロジェクト
URL	http://www.sunflower-fukushima.com/

新店舗への移転

～株式会社シャークス（宮城県気仙沼市）～

- サメの革を用いたオリジナル商品を企画・販売する事業「サメの街気仙沼を発信」です。（2016年企業賞「仙台銀行じもと復興創生応援賞」）。
- 2011年12月に仮設商店街南町紫市場にて開店し、その後仮設商店街福幸小町田中通りに2016年9月に移転。施設の解体に伴い、二度のプレハブ仮設店舗での営業でした。
- 2018年7月2日に気仙沼市の内湾エリアに新設された商業施設内の新店舗にて、本設として新装オープンしました。ワンフロアを3店舗でシェアして、気仙沼ならではのサメ革製品を充実させ、気仙沼を発信しています。

希少なサメの革は、商品として加工するまでに難しい技術が要求されます。店内ではそれを触った上で購入できます。



サメ革の「小銭入れ」や「名刺入れ」は、色褪せることなく使うほどに柔軟性と艶が増します。



店内は、バック等のサメ革製品、ふかひれ・健康食品のほかに、オリジナルTシャツなどのサメグッズでいっぱいです。



新店舗は「迎（ムカエル）」とよばれる新しい商業施設内にあり、2階からは気仙沼内湾の素晴らしい景色が見えます。



概 要

団 体 名	株式会社シャークス（宮城県気仙沼市）
事 業 名	サメの街気仙沼を発信
受 賞	企業賞「仙台銀行じもと復興創生応援賞」（2016年度）
事 業 概 要	気仙沼が漁獲量日本一を誇るサメの革を用いたオリジナル商品を企画・販売する事業
U R L	http://sharksjapan.com/

「島津麴店」日本橋三越の「夏麴フェア」に出店しました

～島津麴店（宮城県石巻市）～

- 明治42年に石巻で創業し、100年以上の歴史を有する企業です。東日本大震災では、津波に見舞われたものの、店舗と工場を再建し、現在の6代目が島津麴店を引き継いでからは、宮城県内産ササニシキ100%の飲む糀「華糀」の製造・販売を始めるなど、新しい取組を進めています。
- 日本橋三越本店で6/20～6/26まで開催された「梅雨のエネルギーチャージ～夏麴」に出店しました。華糀・生糀・糀フル（非加熱ジャム）2種・和紅茶・グラノーラ・「Zunda華糀Shake」・ずんだ餅糀関連商品や、テイクアウト可能な華糀ミルクが出品され、普段インターネットでは購入できない催事限定商品も並ぶなど、同社の豊富な商品ラインナップがイベントを盛り上げました。

催事出店の様子



島津麴店の「華糀」



- 出店のきっかけ -

島津麴店は、本ビジネスコンテストの受賞特典である「専門家による派遣指導」をきっかけとして、日本百貨店協会とのネットワークが生まれ、昨年の麴フェアに出店。今年も出店の運びとなりました。



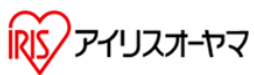
専門家派遣の様子

概 要

団 体 名	島津麴店（宮城県石巻市）
事 業 名	・価値ある健康サポート、天然発酵甘糀飲料「華糀」（2014年度） ・華糀アイスクリームセットの新製品開発（2016年度）
受 賞	優秀賞（2014年度）・企業賞「アイリスオーヤマ賞」（2016年度）
事 業 概 要	自社販売している宮城県内産ササニシキ100%の「華糀」を使用したアイスクリームを、日本のトップパティシエ監修のもとに開発・販売する事業。（2016年度）
U R L	https://www.simazu-kouji.com



協賛団体



協力団体

